

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員 斉藤 くに子 区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議会: http://www.jcp-arakawakugidan.jp/ くに子ブログ: http://s-kuniko.jugem.jp/



2022年9月11日 No.1303号

区役所直通 3802-4627
fax 3806-9246

区議会9月会議が始まります

9月12日から9月会議が始まります。

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、燃料・物価高騰が続いています。命と暮らしを守ることを最優先の区政運営が求められます。

日本共産党区議団は横山・北村・斉藤の3名が本会議質問に立ち、区民の生活を支えるための支援策を提案します。

2021年度の決算特別委員会もあり、区の施策の問題点も質し区民要望実現に力を尽くします。みなさんのご意見をお寄せください

コロナ3年目の決算も黒字

提案の補正予算では黒字分のうち22億円は

(千円)	歳入決算	歳出決算	剰余金
2021年度	112,983,666	198,027,961	4,904,272
2020年度	124,398,169	121,970,242	2,251,415
2019年度	100,849,634	97,980,489	2,488,301

国に返還(ワクチン・臨時給付金・医療扶助など)
国事業の予算を多めに見積もったことで…足りない時に後から追加措置なしのため)・
基金積立に24億円です。

区の施策は国や都の補助金を使いコロナの病床確保・発熱外来・ワクチン接種などの継続や3つの経済対策と区施設の電気ガス高騰予算です。

斉藤くに子は9月13日午後質問

1 高齢者の暮らし応援のために

- ①補聴器助成制度の所得制限と補助額を至急見直すこと。
- ②ふる割200を週2回に拡大すること。

2 子育てしやすい街あらかわを宣言し施策を展開すること。

- ①おむつ等0児への定期便を始めること。
- ②私費負担の教材教具を総点検し公費負担を拡大すること。
- ③高校・大学の奨学金返済支援制度をつくること。
- ④大学入学金の廃止を国に求めること。

3 都立高校入試スピーキングテストは直ちに中止を求めること。

4 区民の参政権保障のために

- ①投票支援カードを選挙の入場整理券と一緒に郵送すること。
- ②全国障害者協会「201の事例・要望集」や「障害を持つ人の参政権保障連絡会」の選挙のしおりなどを参考に点検し障害がある有権者の投票支援を具体的にすすめること。
- ③子どもの意見表明権の具現化として中高生議会を検討すること。



電気ガス高騰で2億8千万円

電気ガスの高騰で庁舎等区施設関連の予算を当初より約1.4倍に引き上げる試算で+2億8千万円の補正を組みました。

区民も家計が厳しくなっていますが、残念ながら支援策はありません。

今議会で質していきます。

★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は12月は年末なのでお休み
毎月第4月曜18時～

9月26日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮対策に際し応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コニヤバス花の木停留所前)

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

9月会議で審議する案件

一般会計・国保会計・介護保険会計 補正予算	2021年度決算確定により清算及び基金積み増し・区施策の拡充等
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	国の法改正に伴い、定年を段階的に65歳まで引き上げ、それに伴う制度改正等
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	国の法改正に伴い、育休の取得回数制限や産後パパ育休の要件緩和等
職員の退職手当に関する条例の一部改正	退職職員の基本手当(失業手当)について、要件を満たす場合に拡充等
公益的法人等への荒川区職員の派遣等に関する条例の一部改正	東京オリ・パラ競技大会組織委員会の解散を受け、派遣先団体から削除
荒川区議会議員及び荒川区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	選挙運動用自動車、ビラ、ポスターの公費負担限度額を引き上げる
荒川区立保育所条例の一部改正	公私連携型保育所へ移行に伴い、区立タヤけこやけ保育園を廃止(民営化)
財産の貸付けについて	(社福)教信精舎に、タヤけこやけ保育園の土地・建物を無償で貸し付ける
子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正	子どもの医療費の助成を18歳以下に拡大
荒川区手数料条例の一部改正	長期優良住宅の認定の緩和に伴う改正

施設の指定管理者に以下の法人・会社を指定する(これまでと同様)

ふれあい館	
南千住	(株)ポピンズエデュケア
荒川山吹	(特非)荒川区高齢者クラブ連合会
町屋	(社福)雲柱社
尾久	(特非)ワークスコープ
タヤけこやけ	(社福)教信精舎
文化施設	
サンパル荒川	(株)ケイミックスパブリックビジネス
日暮里サニーホール	(株)コングレ
ムーブ町屋	
区立町屋文化センター	荒川区芸術文化振興財団
区立清里高原少年自然の家及び 荒川区立清里高原ロッジ	(株)ニッコトラスト
住宅	
荒川区営住宅	
荒川区民住宅	東京都住宅供給公社(JKK)
及び 荒川区従前居住者用住宅	

キャッシュレス決済でポイント還元

【補正額：2億4787万2千円】

区内店舗で、キャッシュレス

で買い物をした場合に20%を還元。

(PayPay、d払い、auPay、楽天ペイなど予定)

1回あたり3,000円/期間中1万円まで

・実施時期…12月を予定

省エネ家電助成を拡充

【補正額：300万円】

※早ければ11月頃を予定

現在の「省エネ家電助成」

の助成額を引き上げ

・区内購入3万円→5万円

・区外購入1万円→3万円

○エアコン・冷蔵庫を省エネタイプに

買い替える場合、本体購入

費用の1/4を助成

対象：省エネラベルが

エアコン…4つ星以上

冷蔵庫…3つ星以上

区内共通お買い物券を拡充

【補正額：3876万円】

11月発行予定の「区

内共通お買い物券」を

拡充

・プレミアム率…10→20%に

・発行総額…1.3億→2.8億に

・販売冊数…12,000→24,000冊に



三河島再開発



三河島北再開発…総事業費457億円 内税金は146億円、区が30%

三河島北地区再開発 総事業費

収入	
補助金	146億 700万円
	①区補助 131億円 (国2/1 区2/1)
	②国 13億円 準備組合に直接
保留床処分金	311億 300万円
合計	457億1000万円

支出	
調査設計経費	16億9000万円
土地整備費	9億4300万円
補償費	36億9300万円
工事費	381億9000万円
事務費	9億4400万円
借入金利子等	2億5000万円
合計	457億1000万円

建物の概要

施工面積	約1.5 ha
敷地面積	約9,880㎡ (うち3,500㎡が区有地)
規模	地上43階 地下1階 ※高さ 約160m
建物の内容	①共同住宅(約760戸) ②商業・業務等 (床面積5,600㎡) ③公益施設(多目的アリーナ=区の権利分施設)※ ④駐車場

※区施設 多目的アリーナ

①建物	地下1階 地上3階
②床面積	約3,200㎡
※多目的アリーナ整備で権利想定分 (真土小跡地)のほか追加で約6億円 を見込む	

31日の建設環境委員会に三河島北地区再開発の事業計画案が報告されました。

以前より事業費増大…

以前の報告では、事業費407億円・税金128億円でした。しかし事業計画案では、事業費457億円、内税金146億円と大幅に増加。さらに建築費の高騰の影響は、今後の課題となっています。

また、区は、約3割の土地(真土小跡)を持っており、多目的アリーナを作る計画ですが、権利分以外に6億円追加です。

住宅は増えるが？

760戸の住宅のうち160戸をシニア住宅にする計画ですが、共用部分をとるなど通常の方譲マンションより割高になるようです。住宅に困窮する多くの高齢者には手が届きません。そこに多額の税と区の土地を投入…区の住宅政策として間違っています。

ウクライナ難民への支援を



友人のお誘いで9月5日に西新井文化ホールでのナターシャさんのチャリティーコンサートに行ってきました。

民族楽器パンドウラの素敵な音色にのっての歌声は素晴らしく、アンコールを含めて11曲たっぷり聴かせていただきました。

曲の間のトークも胸に響きました。36年前6歳の時にチェルノブイル原発事故でわずか3.5Kで被爆した時のお話もありました。

葛飾・立石在住で5月5日には高砂地区センターで「チャリティーコンサートを開いています。



足立区には30世帯53人、葛飾区には18世帯26人、荒川区は5月～7月にウクライナから避難してきた女性60代で2人いらっしゃいます。(ご親戚が区内及び川口市在住)

現在は、民間不動産の空室物件短期無償提供を受けて西尾久でお暮しですが、現在都営住宅への転居の手続をしているそうです。

生活費は国や都の直接支援はなく、日本財団を通して(1人年間100万・1家族で300万円上限で3年間)の支援。

足立区葛飾区荒川区は一時金として一人10万円支給しました。

都会で生活するには金銭的に大変。避難の方々は日本語教育・職業訓練・就職機会・医療・仲間づくり等を求めています。

区議会日程

9月12日(月) 9:30～全員協議会
10:00～本会議(横山区議)
13日(火)10:00～本会議
(北村区議と斉藤くに子)
15日(木)10:00～総務企画委員会、福祉民生生活委員会
20日(火)10:00～文教子育て支援委員会、建設環境委員会
22日(木) 9:30～決算理事会→決算特別委員会→幹事長会
26日(月) 9:45～全員協議会→本会議→決算特別委員会
27・29・30日 10:00～決算特別委員会
10月3・4日10:00～決算特別委員会
12日(水) 9:30～全員協議会→10:00本会議

高齢者用区営住宅の 空き室待ち募集

・対象住宅…南千住二丁目、町屋五丁目、町屋七丁目、西尾久三丁目、西尾久七丁目
・単身用 15人
・2人世帯用 5世帯
・申込書配布…区役所1階総合案内、各区民事務所にて、9月22日(木)まで。
・申込方法…郵送で下記まで、9月22日(木)消印有効。

〒116-8501
(郵便番号で可)荒川区役所福祉推進課 地域福祉係
☎03(3802)3111
内線(2616)



東京23区では初となりそうです。日本共産党荒川区議団も繰り返し、給食無償化を求めてきました。荒川区でも、他の区でも区内でもこの動きが広がることを期待。荒川区でも実現をみなさん声をあげましょう。

